



サポートやお ボランティアだより

第78号
2018年9月20日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会
★住所 〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 在宅福祉サービスネットワークセンター内



ふれあいフェスタ

～ みんなで楽しもう ～



夏だ！祭りだ！暑さに負けるな！8月25日(土)ボランティアセンターで“ふれあいフェスタ”が行われました。今年の夏は特に暑く、また台風もやって来て、どうなるかと思いましたが、いっときに比べて、暑さも少しやわらいだようです。



多目的ホールでは、ボランティア連絡会とプラットホームのみなさんが、素晴らしいパフォーマンスを、みせてくれました。琴の演奏から始まり、マジック、人形劇、ピアノとフルートの演奏、体操、フォークダンス、コーラス、河内音頭、阿波踊り、落語、フラダンスとウクレレなど…盛りだくさんの内容で、見ている人を楽しませてくれました。始まりから終わりまで、手話通訳をしてくださった通訳者のみなさん、ありがとうございました。

会議室で午前中は、幼児や小学校低学年の子どもさん向けに、松ぼっくりの花炭アート・お菓子のつかみ取り・魚釣り・輪投げなど、普段は子育てに忙しい、若いお母さんたちも、お父さんに手伝ってもらいながら頑張ってくださいました。

午後からは、点字・音訳・傾聴・手話の体験コーナーが設けられました。それぞれ、なくてはならない、コミュニケーション手段の一つです。

ボランティアルームでは、絵手紙・押し花・パズル体験・工作・金魚の折り紙など、子供から大人まで楽しむことができました。

フリースペースでは、車椅子体験・ディスコン・バルーンアートが有り、みなさん楽しんでいました。

盛りだくさんの内容で、目移りしてしまいそうです。田中市長も見に来られ、その賑わい振りを見て、ボランティアのみなさんに、励ましの言葉をかけてくださいました。受付や自転車、バイクの整理など、暑い中ありがとうございました。



ボランティア活動を市民のみなさんに知って頂き、ボランティア同士の交流となる様に実施された、今回の『ふれあいフェスタ』、初めての試みでしたが、どうだったでしょう…。ボランティアの笑顔で明るい八尾の街…。次回乞うご期待 !!

ボランティア体験プログラム



バルーンやお

手先を使い、頭の活性化



8月22日バルーンやおの活動にお伺いしました。

初めに、会の運営等について検討が行われました。そして、一人の会員が指導者となり、バルーンの制作が始まりました。

先ず、かぼちゃの制作では、初めは順調に進みましたが、最後の【全体を抑えて、かぼちゃらしくする】時に

なって、**パン**と破裂音！アー残念でした。

続いて、ぶどうの制作に移りました。小粒な実を房の様に組んでいきます。続いて、葉を作りました。ある作品では、葉にはなっているが、少し違う様子です。説明の時にちょっと油断していたのかな。

みんな楽しく活動をし、作品の出来栄は、スゴイ！

会員の声：「自宅での練習は、なかなかできない。しかし、作品作りを楽しんでいる」。机の上に置かれた、大小の○等が描かれた印刷物を見ながら作品を作っています。「これによって、2cm、3cm・・・という感覚を思い出した」そうです。なるほど！

体験者の声：「楽しい。頭の活性化。手先を使い若さを保てる。4年間ブランクがあるが、慣れて来たら、このグループに戻り、ボランティア活動をします」。この体験プログラムの、新たな活用だと思いました。

ボランティアの声 ③⑤



わたしの宝物

おりがみの会
工藤 絹代

退職後、シルバーリーダー養成講座で3年間、ボランティア活動を始めするための勉強をしました。ところが、趣味、特技を持ち合わせていない私は、継続してやれる活動が見付けられず、悶々とした日を過ごしていました。

そんな時、ボランティアセンターから「折り紙ボランティア出来る人いないかな～」と声を掛けられ、本を片手に始めたのが折り紙ボランティアだったのです。養成講座で同期だった仲間と「とにかく続けてみよう」を合言葉に今年で9年目を迎えました。

更に、手話・バルーンアート・傾聴の講座を受け、たくさん学べたことが今の活動の原動力になっていると思えるようになってきました。折り紙で悪戦苦闘した頭と指先は、バルーンアートでも活用することが出来、手話で学んだ表情豊かに話すことは、傾聴で大いに役立ち、傾聴で学んだ相手への接し方『笑顔・うなずき・アイコンタクト』は、活動場所で出会った人達と楽しい時間を共有させてもらえる大切なカギであるといえます。

いつも背中を押してくれるボランティアセンターの人、一緒に活動している仲間、そして「また来てね」と言って待っていている沢山の皆さんと出会えたボランティアは、わたしの宝物であり、元気の元なのです。

「今日も行く所がある。出会える人がいる」と、つぶやきながら、もう少しボランティア活動を続けようと思っているところです。



広がれボランティアの輪 ⑤7

【手づくり やさしい手】

一針に込める優しき心



7月9日 《サポートやお》2階で作業中のボランティアグループ【やさしい手】を訪問しました。

高齢者や障がい者が必要とされるものを当事者や介護者の希望に合わせて製作されています。

この日は、事椅子用の雨カッパを皆さんあれこれ相談しながら、作業されているところでした。

男性用で、背中のリュックもカバーできて、前は足元までスッポリおおいのだそうです。

希望に沿ったパターン作りから生地選び、そして縫製へと進んでいけます。

隣のテーブルでは、手の不自由な方のリハビリ用花ボールやおじゃみ、床ずれ防止用の円座などの介護用品が手作業で作られています。

当日は、大変お忙しい中、会長さんからも丁寧な説明をしていただき、訪問させていただいた私たちも、このように素敵な喜ばれるボランティアがあるのを知って感動しました。

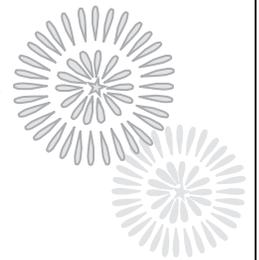
メンバーは10人余りで、プロ並みのベテランさんや新人さんが活動しています。老いも若きも自分が一針でも参加したものが、人様の役に立つのが嬉しく、又、楽しいと話されていました。

興味のある方は、是非一度見学に行かれてはいかがでしょうか。

福祉施設訪問 ⑤9

【いちよう学園】

真夏の夜の誘い



いちよう学園の取材は“超”久しぶりで、妙に緊張感を覚えました。

開場は午後5時半で、これは関係者を主としたもの。一般の人たちの入場は6時からなのですが、期待を胸に列をなしていらっしゃる方々の姿を見ていると、こちらの方がワクワクする光景でした。

オープン前の会場は、夜店等の準備でてんやわんや。でも、手馴れたもので、あっという間に完成。

入場と同時に会場は《人・人・人》で埋めつくされました。屋台で食べ物を買って求めたり、人形劇・スーパーボール・金魚すくい・たたき台コーナーとお祭りモード全開。あれこれ楽しんだ後、フィナーレは打ち上げ花火。今夏を惜しみながら、2018年の真夏の一日は暮れてゆきました。

厳しい暑さは暫く続きそうですが、お身体には気をつけて、また来年お元気な皆様とお会いできるのを楽しみに！！



ボランティアセンターからのお知らせ



ボランティアお試し講座



八尾市ボランティア連絡会に登録しているグループによる講座を開催しました。

～傾聴ってなあに？～

平成30年8月22日(水)サポートやおにて、「八尾傾聴 えくぼ」による傾聴の意味や、傾聴のスキルを分かりやすくお話し、傾聴ってどんなものなのかを知りたい方等を対象にお試し講座を開催致しました。

当日は、猛暑にもかかわらず、募集人数を大幅を超える沢山の方が参加されました。

「聞く」と「聴く」の意味の違いや、実際に「聴き手」「話し手」として体験して頂いたり、会員によるロールプレイを見て頂き、より分かりやすく傾聴について説明をして頂きました。

ぜひ、日常生活でご家族やお友達に学んだ傾聴の技法を使って下さいね！



2018 ボランティア活動展開催！！

「ボランティア活動展」は、「何か自分にできることをやりたい」「自分にできるボランティアはあるの？」そう思っている方たちのために開催しています。ボランティア活動は何か資格や技術が必要なわけではありません。

「活動展」をご覧いただき、社会福祉協議会に登録しているボランティアグループが、「いつ」「どんな活動」をしているのか知っていただき、「自分ができること」「自分がしたいこと」を見つけて下さい。

ボランティアの輪が大きくなることを期待しています。体験コーナーもあります！！



日時:平成30年11月12日(月)～11月16日(金)

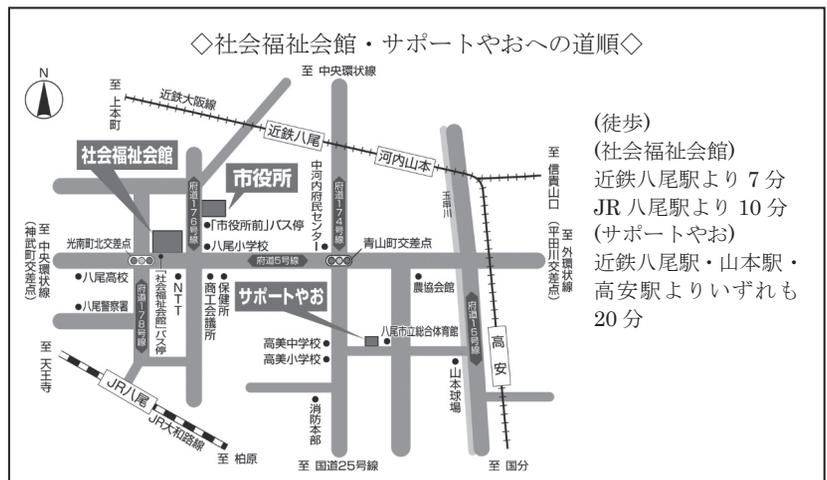
場所:八尾市役所 1階市民ロビー

時間:午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581-0018
大阪府八尾市青山町4-4-18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内(サポートやお)

電話:072-925-1045
FAX:072-925-1161
syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp



(徒歩)
(社会福祉会館)
近鉄八尾駅より7分
JR八尾駅より10分
(サポートやお)
近鉄八尾駅・山本駅・
高安駅よりいずれも
20分

編集委員:大下 地恵子、尾崎 光二、二葉 登代子、舘 邦夫、
藤後 聡子、鶴園 輝雄、大垣 泰子、桐島 久恵、市場 悦子